

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

6月号 2017. 6. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marow.or.jp/chiba/>

第27回 定期総会 5月7日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会の第27回定期総会を16名の参加で船橋市勤労市民センター第2講習室にて行いました。

総会では、28年度の事業報告・決算報告・29年度の活動方針と計画・予算案の採択がされ、役割分担、規約改正について審議されました。

平成28年度は前年比1.5倍の193回の登録会を開催し、献血ルームでの登録者増もあり、1,000人超の登録者がありました。千葉県の登録者は3月末で13,981名となり、目標としてきた14,000人の登録者は4月に超えました。

「コンサートと落語会」を初めとするイベントや普及啓発活動も活発に行い、ケア帽子製作活動も定着して参りました。

今年度も登録者増に向けて、新規会場を含めた登録会、説明会、普及啓発活動の開催を討議。又、ドナー助成制度を更に多くの市町村で導入できるよう取り組むことが討議され、その後議事はすべて承認されました。

総会終了後は恒例の懇親会で、盛り上がった1日となりました。(北村美)



◆平成29年度活動方針

平成26年1月1日に施行された造血幹細胞移植に関する法律は、今年法令の見直しがあります。千葉の会は全国協議会から塩崎厚生労働大臣宛て提出する要望書に「国及び地方自治体は、ドナー登録希望者の発掘増進を図るため教育機関等への普及啓発、並びにドナー候補者が提供しやすい環境の整備などに必要な施策を講ずる責務を有することを規定化すること」を記載するよう具申しました。

ドナー助成制度は、習志野市、我孫子市及び船橋市で実現していましたが、当会の働きかけ活動が実りこの4月から新たに千葉市、松戸市が採用しました。更に全県に広げるべく今年度も県、各市に引き続き要望して参ります。ケア帽子の製作は、日赤奉仕団のご協力を得て今年度も継続して参ります。

「コンサートと落語会」は、成田市の全面支援を受け会場を「成田市文化芸術センター」に移し、11月11日(土)に開催します。

当会が千葉県の目標としていたドナー登録者14,000人も4月に達成。今年度も骨髓バンク支援活動を実施してまいりますので、ご支援を宜しくお願い致します。

なお私は、昨年6月に日本骨髓バンクの「評議員」に、今年3月に「厚生労働省造血幹細胞移植医療体制整備事業選定・評価会議委員」に、また7月に全国骨髓バンク推進連絡協議会の副理事に就任します。新たな立場で、骨髓バンクの発展に微力を尽くして参りますので、宜しくお願い致します。(梅田)



啓発活動報告

幕張メッセ できどきフリーマーケット 2017

毎年恒例となっている日本最大級の「できどきフリーマーケット」。今年も5月3～5日のGWに幕張メッセで開かれ、献血併行ドナー登録会も行われました。私は2年ぶりぐらいに初日3日の午後から参加。

会場内は、リピーターが多いのか、皆さん手慣れたもので、会場の隅などに、レジャーシートを敷き、休憩場所を確保した上で掘り出し物探しに夢中な様子。ただ天候に恵まれすぎたせいか、思ったよりも混雑していない雰囲気でした。

そのせいか献血も待ち時間があまりない状態で進められていました。ドナー登録はここ数年、各日とも1ケタの登録者数。3日も前半は一人でしたが、県業務課の館岡副課長、川口主事も一緒にギフト配布や呼びかけを行って頂いたおかげもあってか、終わってみたら11人と久しぶりの2ケタ台の登録となりました。

最終的には3日間のドナー登録者数は19人、説明9人でした。献血者中心に声掛けをしましたが、200,775人の来場者がある大イベントですので、もっと戦略的な広報活動を考えなくてははいけないなあと考えながら会場を後にしました。(黒川)

登録会報告

～今回は新学期を迎える大学に行ってきました～



順天堂大学 さくらキャンパス **登録者 9人、説明受講者 14人** **説明員：尾木**

4月7日（金） ガイダンス期間ということもあり、黒いスーツの学生さんたちが多かったけれど、最後1時間で女学生5人が登録してくれました！ （尾木）

千葉工業大学 津田沼キャンパス、新習志野キャンパス **登録者 9人、説明受講者 14人** **説明員：尾木**

4月10日（月） 午前はライオンズさんが2人、午後からは日赤奉仕団の方2人、ボランティアの学生さん4人が呼びかけに参加されました。
4月14日（金） 屋外テントにて登録会をしました。始まり早々、お父様が登録しているという学生さんが登録してくれました！ （尾木）

千葉大学 西千葉キャンパス **登録者 29人、説明受講者 6人** **説明員：北村美、柴谷、山口、溝口**



4月10日（月）という事もあり新入生やサークル勧誘の若者でにぎわっていました。途中右女助さんが顔を出してくださいました。今日から（10日）授業開始だそうです。登録して下さった中で唯一の女子学生さんはお母さまが看護師さんで骨髄バンクの話聞いていて声掛けした時に即答で登録します！と言ってきて本当に嬉しかったです。（北村美）
4月12日（水）に登録に来てくれた4年生の女子学生さんは、小学生の時に実家青森のお父様が骨髄提供したので、自分もと登録に来てくれました。 （山口）
4月13日（木）は肌寒い一日で、午後から風も強くなってきました。献血が初めての女子学生さん、2人で説明を聞いてくれてそろって登録してくれました！ （北村美）
4月14日（金）は、献血の順番待ちの学生さんの中で、授業が始まる待っている途中で中座して、授業に出てまた帰ってきて採血、登録して頂いた学生さんもいました。嬉しかったです。1、2年生は夏休み以外休みがとりにくいようで、4年生になると余裕が出るようでした。 （溝口）

日本大学生産工学部 津田沼校舎、実初校舎 **登録者 7人、説明受講者 12人** **説明員：山本、尾木、北村美、柴谷、河口**



4月12日（水）に津田沼校舎に訪問したら新学期の授業の始まり頃で、まだ校舎の移動もままならない学生がちらほらいました。授業の履修の仕方が学生によって違うのか、授業の合間にきてくれました。 （河口）
4月17日（月）の津田沼校舎の献血は今日が最終日。15時過ぎからグループで献血にみえる学生さんも増え、バンクコーナーにも立ち寄り、午後は3名の登録でした。（北村美）
4月18日（火）の実初校舎の日は活動開始前から風雨がすごく、受付のみ食堂の一角に移動して献血の4日間を迎えました。登校者は殆どが1年生とのことで、献血するのも初めての学生さんが多いと感じました。今回は入学早々の学生さんが多く、次回を期待したいと思いました。 （山本栄）

帝京平成大学 千葉キャンパス **登録者 21人、説明受講者 9人** **説明員：北村美、山口、西島夫妻**

5月15日（月）は10代学生4人、20代学生5人の登録者でした。若い方々に大勢登録して頂き、嬉しく思います。（北村美）
5月16日（火）は登録者全員20歳前後の若者たちで活気あふれる登録会になりました。皆さん楽しそうに学校によって違いますね。私たちも楽しく登録会が出来ました。 （西島夫妻）

その他の登録会報告	4月	登録者 (人)	説明受講者 (人)	説明員	その他の登録会報告	4月	登録者 (人)	説明受講者 (人)	説明員
千葉県庁	4日(火)	0	2	志田	イオンモール木更津	22日(月)	5	2	西島夫妻
茂原市保健センター	4日(火)	0	2	円東	イオンモール木更津	23日(日)	3	2	熊倉夫妻、石橋
千葉県庁	5日(水)	2	2	北村美	君津市保健福祉センター	24日(月)	3	5	西島夫妻
君津市保健福祉センター	5日(水)	1	1	西島隆、柴谷	成田市役所	26日(水)	5	1	柴谷、北村美
JR新浦安駅前	9日(日)	4	1	久永、山本栄	木更津市役所	28日(金)	2	2	西島夫妻
松戸献血ルーム	20日(木)	3	2	河口					

その他の登録会報告	5月	登録者 (人)	説明受講者 (人)	説明員	その他の登録会報告	5月	登録者 (人)	説明受講者 (人)	説明員
イオンモール成田	3日(水)	2	1	柴谷、円東	住友化学 袖ヶ浦地区	23日(月)	1	0	西島隆
JR新浦安駅前	7日(日)	2	4	山本栄、久永	住友化学 姉崎地区	23日(月)	0	0	西島一
流通経済大学新松戸	10日(水)	0	9	柴谷、河口	四街道市役所	25日(水)	4	1	北村美
ユニモちはら台	13日(土)	2	2	円東、熊倉照	イオンモール木更津	27日(金)	2	8	円東
ユニモちはら台	14日(日)	6	4	西島夫妻、志田	イオンモール木更津	28日(土)	7	1	西島夫妻
イオンモール幕張新都心	14日(日)	8	2	尾木、河口	イオンモール成田	28日(土)	3	4	石橋、熊倉夫妻
八街市役所	18日(木)	2	2	北村美、山本栄	袖ヶ浦市保健センター	30日(火)	5	4	円東
三井化学袖ヶ浦センター	23日(月)	0	3	円東	東京大学 柏キャンパス	30日(火)	1	0	柴谷、河口

骨髄バンクドナー登録推進イベント ～みんなで応援！千葉からはじまる希望のリレー～ 開催される

4月15日(土)、千葉市幕張のZOZOマリスタジアムで標記イベントが開催されました(プリストル・マイヤーズ(株)主催)。千葉の会に、読売千葉広告社さんから今回の企画が寄せられたのは今年初め。bayfmによるトークショーやクイズ大会、ラッキールーレット大会周辺での啓発活動など当会への協力要請がありました。当日は8名のメンバーが参加、強風と格闘しながら、登録説明会、助成制度のチラシ配布などの啓発活動を行いました。スタジアム内では、千葉県内で治療を受けて元気になった可愛いお嬢さんらがロッテ・西武の両監督に花束を贈呈し、登録推進呼びかけに一役を担いました。

最後になりますが、このイベントに先立ち、(株)千葉ロッテマリーンズ様、(株)千葉ジェッツふなばし様よりドリームキャッププロジェクトへのタオル提供がございました。心より感謝申し上げます。

以下、当日の参加メンバーの感想です。

前日の強風の影響で、集合場所のテントは吹き飛ばされていましたが、マリスタジアムは大勢の来場者で賑わっていました。

bayfmの佐藤由季さんの声掛けで大勢の人が足を止め、ラッキールーレットに並んでいました。その隣で私たちは登録説明を行ったのですが、抽選でサインボールをプレゼントすることも影響して?多くの方々に説明をすることができました。

またステージ上で開催したクイズ大会では、青葉病院の横田先生による骨髄移植の説明、そのあとにクイズと私による解説と大勢の人にPRをすることができました。また、最後にはスタンリッジ投手も登壇し、アメリカでの移植の現状にも触れていただきました。当日は残念なことに登録会はできなかったのですが、スタジアム内でもPR活動が行われバンクには充実の日でした。なお、MCの佐藤由季さんのブログに当日の様子が出ていますのでご覧ください。(石橋)

会場でおこなった登録説明会には、読売千葉広告社の方から頂いたロッテマリーンズのタオルで作ったケア帽子を皆で被って説明しました。隣ではラッキールーレット大会があり、その流れで説明のブースで大勢が来てくださいました。中には帽子が欲しい方もいらっしたようです。型紙のほしい方には後から送りました。(西島一)



イエローシートキャンペーン in イオン柏店

イオン柏店でのイエローシートの贈呈式は毎年4月11日に2階シュー・ラ・ルー前でおこなわれました。各団体の座席は決まっていますが、柏店に登録した順に並べられており当会が一番前の一番目です。イエローシート投函ボックスも登録順に並んでいます。贈呈式の授与は贈呈金額の多い順に呼ばれます。以前、会議室で贈呈式が行われていた時には、金額も言われてからギフトカードとの交換書を頂いた記憶があります。現在、金額は全体の前で公表されませんが、今年は昨年より

13,000円多い146,300円でした。交換商品はエコタンク搭載プリンターで、1ヶ月平均100枚印刷してインクを2年間交換しなくてよい物で38,800円でした。残金107,500円で登録記念ボールペン(2色+シャーペン)を360本作成しました。



昨年度の献血併行登録会193ヶ所、登録者は1,099人(ルーム登録者含む)でした。今年度はこれを上回ることが予想されます。記念品として会の気持ちを少し伝えることが出来るのもイエローシートに感謝です。(柴谷)

こころからの寄付、ありがとうございます

向井圭子 様	5,000 円	佐藤秀哉 様	20,000 円	川井寿江 様	2,000 円
吉川優子 様	7,000 円	読売千葉広告社	30,000 円		

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2017年4月末現在)

	全国(累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県(累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	471,551	+1,651	+12,186	14,039	+81	+509
累計患者登録者数	50,834	+466	+3,503	1,970	+12	+106
累計移植例数	20,641	+214	+1,440	650	+8	+45

亀田医療大学で元患者さんの語り部と献血併行登録会を開催

5月22日(月)、事前に登録会前に説明会を開いて欲しいとの大学側のご要望もあり、83人の学生さんらが大教室において40分、献血と骨髄バンクの話が聞かれました。語り部として日赤の近藤勇気さんは、繰り返しの輸血による治療によって元気になったご自分の闘病体験から献血者への感謝の気持ちを、荒井善正さんは骨髄移植を受けたことや、「骨髄バンクドナーがいなければ今の自分はいなかった」と心情を明かしました。「普通に暮らせるのは当たり前ではないですよ」との二人からのメッセージを学生さん達は真剣に聞いていました。その後、私がチャンスを使ってドナー登録について説明。終了後、希望する学生はそのまま教室で申込書に記入し、献血会場に向かって献血とドナー登録を行いました。説明会前の2人の登録者もあり、ドナー登録は31人、献血には58人が協力してくださいました。担当の先生は、「とても良い授業になりました」と喜ばれ、日赤さんも今回の新たな形を気に入られ、「またやりましょう!」との言葉を頂きました。今度は説明も含め、もう少し時間を頂戴して開催したいです。



看護師の勉強をしている学校ですので、荒井さんからの「辛い闘病で看護さんの優しさに助けられました。」という言葉はきっと皆さんに伝わり、優しい看護師さんになってくださるのではと思いました。

ふたりで31人の登録対応はとても大変でしたが、多数の登録者で充実した登録会となり、皆様に感謝の一日になりました。(西島一)

『瓢箪から白血病!?!』第2回 思い返せばいろいろあったでした ~I.K.~

気が付けば 白い空白いっぱいの 手紙とともに 月日は過ぎぬ (1998.6.4)

ある程度、患者の容態が安定したら、その度にファミリーカンファレンスが開かれます。1回目のカンファレンスは予告されていた病名と違い、いきなり白血病であるという事と、抗がん剤で髪の毛が全て抜け落ちる、という告知で何も考えられませんでした。後に近藤師長から頂いたメモには整然とどのような事が話されたかが書かれていましたが、簡略しうと、治療の着手から骨髄移植に至るまでが既に話されていたようです。

抗がん剤は上腕の静脈に点滴で体内に入っていきます。通常の注射針より太く且長い針なので痛いし、少しでも角度を変えると点滴液が狙い通りに落ちなくなったり、場合によっては血管が詰まってしまったりして、二度と同じ血管に点滴が打てなくなる場合があるので、微妙でした。

抗がん剤治療では、倦怠感、吐き気、高熱、失禁、脱糞など、恥ずかしい思いもするし、そこで先生やナースさんと強い絆で結ばれた感があります。また、いくら熱でうなされていても、もっと闘う相手は孤独感で、特に14時から15時までの面会時間前が一番辛かったです。



こいこいの 宇宙と地球の随想記 1st シーズン「星の巻」

第2回 太陽はいつまで燃え続ける ~星の一生の物語~

日が暮れるのが一年で最も遅いこの時期。これから夏の星座の季節です。夜の8時頃真南に輝いている明るい星が木星。それを追いかけるように、美しい環を持つ土星が夜中の0時ころ南中します。

ところで、我々太陽系の中心である太陽は、いつから輝き続けているのでしょうか。私たち人間と同じように、星にも一生があり、その昔誕生した星はやがて一生を終えて再び星屑に戻っていきます。太陽が生まれたのは、今から約46億年前。地球もその惑星の一つとして同じころに誕生しました。太陽の内部では燃料である水素がゆっくりと燃え続け、今でもまばゆいばかりの光を放っています。しかし、あと50億年くらいするとだんだんと赤くなり、しかも膨張して現在の約150倍ほどに膨らみます。そのとき、地球は赤い太陽に飲み込まれてしまうかもしれません。さらに膨張は続き、やがて太陽はまわりにガスを放出して、ぼやっとした星雲のひとつになってしまいます。太陽が終わりを迎えるとき、人類はどうなっているのでしょうか。はるか遠い宇宙には、星々の歴史が眠っているのです。(H.K.)



今後(6~7月)の予定(お知らせ)

ドナー登録会	
・東庄町役場	6月20日
・イオンモール木更津	6月24~25日
・白井市役所	6月29日
・千葉市役所	6月30日
定例会予定	
日時	7月9日(日)14時00分
場所	船橋FACE5階 ボランティアルーム

<編集後記>

「親でさえ一致しなければ骨髄液をあげることはできない」と訴えたもえちゃんの啓発ポスターから21年。血縁でのハプロ移植の成績が向上しているとのこと。葉がよくなり、それを使って治療する先生方のご努力の賜物と思います。様々な治療成績が向上し、骨髄バンクの必要がない日が来ることが私達ボランティアの願いです。活動に加わって18年、はるか彼方にあったゴールは目視できるぐらいになった気がしますが、今、病と闘う患者さんを考えれば、まだ活動を終えることはできません。

今号で編集委員はお役御免となりました。つたない紙面作りにご協力くださった皆様、どうもありがとうございました。違った形で広報活動を続けたいと思います。また会える日まで(黒川)